

～実力接近で激戦必至の優勝争い～ 9月1日、愛知での男子・大同特殊鋼-琉球コラソン戦を皮切りに

ロングランの戦いがスタート。新たにトヨタ自動車東日本(過去にセントラル自動車として2部に在籍)が加わって9チーム制

となった男子は上位4チーム、従来と同じく6チームの女子は上位3チームがプレーオフ(平成25年3月9・10日、東京・駒沢

体育館)に進出して優勝を争う。男子2回戦、女子3回戦総当たりで争うレギュラーシーズンは、途中、男女の単独開催や12月

のブレイク期間もあるが、2月24日の最終週末までほぼ毎週試合が続く日程となっている。まずは、プレーオフをめぐる争いに

注目が集まるが、男子は2連覇を狙う大同特殊鋼をはじめ、豊富なタレント陣を擁して王座奪回を期す大崎電気、トヨタ車体、湧永製薬の前回4強にトヨタ紡織九

州を加えた5チームが激しく競り合う展開となるのは必至。さらに新戦力の加入で力をつけている琉球コラソンが上位に割って入る展開となれば、切符争奪戦

はますます混沌としたものになってくる。北陸電力も4年連続の最下位返上に燃えている。東日本はまず1勝が目標のシーズンになりそうだ。

全国各地で行われている熱戦の中盤、折り返しスタートとなる花巻会場での一戦

トップレベルのハンドボールゲームをどうぞお楽しみください。



大崎 No.7 宮崎 大輔



大崎の新人 No.24 信太 弘樹 (藤代紫水高、日本体育大出身)



北陸の新人 No.19 佐々木 喬也 (岩手、不来方高、法政大出身)

～継続～ CONTINUE THINKING HANDBALL FOR THE TEAM

前回はレギュラーシーズンを1位で駆け抜けながら、プレーオフ決勝で敗退。日本リーグだけでなく他のビッグタイトルも逃がし、無冠でシーズンを終えた。そのリベンジに燃える今シーズンは、豊田、宮崎、小澤らの豪華な布陣に、即戦力の目玉レーキー信太を加えてスケールアップ。7月の全日本社会人選手権では優勝と幸先の良いスタートでリーグに入り、10月の岐阜国体でも優勝してリーグ制覇に拍車がかかる。35才のキャプテン永島が先陣を切って走り、60分間攻め抜くスピーディーでアグレッシブなハンドボールにも磨きがかかっている。開幕からエンジン全開で突っ走る構えだ。



大崎 No.9 永島 英明 (主将)

不撓不屈



北陸 No.5 桜井 渉 (主将)

前回は34回、35回リーグに続き、3回連続の最下位に甘んじた上に、14戦14敗と苦しいシーズンを余儀なくされた。それでも、切越、赤塚ら若い力がフル回転してタッグ経験を積んで大きく成長。レベルアップしたチームに、前回はあえて采配に専念した神田監督がピンポイントでコートに立ち、佐々木、小川らレーキーの力をミックスさせて戦う今大会。まず2大会ぶりの白星獲得に全力を注ぎ込み、1勝して得た勢いをふくらませていきたいところ。7月の全日本社会人選手権でも優勝した大崎と接戦を演じるなど手応えは充分だ。